

# 男子アルペン史上4人目

# 湯浅 3位



**アルペンスキー** ◇W杯男子回転第3戦◇ 18日、湯浅直樹(29)がスポーツアルペンク、写真・共同)が2回の合計1分44秒78で3位に入った。湯浅がW杯で表彰台に立つのは初めて。アルペン男子の日本勢の表彰台は、06年3月に回転で佐々木明(ICI石井スポーツ)が2位となつて以来で、岡部哲也、木村公宣、佐々木に続いて4人目の快挙。湯浅は1回目で26位と大きく出遅れたが、2回目で一気に順位を上げた。佐々木明は1回目で途中棄権。2回とも最速だったマルセル・ヒルシャー(オーストリア)が合計1分42秒50で今季2勝目となる通算14勝目を挙げた。イタリア・マドンナディカンピリオ

## 初の表彰台

06年トリノ五輪で7位入賞をつかんでか、改良。その成果がようやく

く発揮された。10年バンクーバー五輪は出場を逃したが、11年世界選手権で6位、昨季W杯で2度の5位と着実に進歩してきただけに「これは奇跡ではない」と強調した。アルペンW杯の常連でただ一人使用する日本メーカーのスキーを自在に操り、冷える夜の急斜面を切り裂いた。1回目は26位だったが、2回目は2番目のタイムをマーク。素早いターンで方向を変えて次の旗門を狙い「いつもの僕らしい滑り

▼全日本スキー連盟古川年正競技本部長  
最高のクリスマスプレゼント。アルペンはなかなか表彰台がなかったが、光が見えてきた。日本スキー全体が上昇機運だ。

「できた」と誇らしげだった。

ライトナー・チーフコーチが「本当なら3、4カ月は休ませたい。滑れているのが信じられない」と言うほどの腰痛を抱えながらの快走で、上位15人の第1シード入りにあと一歩と迫った。来年2月の世界選手権は過去にトップ10が3度ある相性のいいシュラートミング(オーストリア)だけに期待がふくらむ。

## 湯浅、W杯男子回転3位

男子回転で3位に入り、喜ぶ湯浅IIAP

【マドンナディカンピリオ(イタリア)共同】アのマドンナディカンピリオで行われ、29歳の湯浅直樹(スポーツアルペン)が自身初の表彰台となる3位に入った。これまででの最高位は昨季2度あった5位だった。

## 日本製こたわり 連盟支援も結実

アルペンでW杯を転戦する選手の使用するスキーはほとんどが欧米製だが、湯浅は日本製にこだわり続けた。製造元は、湯浅が支援を受けるスポーツ用品大手企業が展開するシャパーナ社だ。

北海道・琴似中時代から湯浅を知る同社の大高弘昭営業部長が陣頭指揮を執り、軽量化や操作性を重視した湯浅モデルの



板を開発。3位の快挙に留飲を下げた。

「うちのスキーの(速く雪面を)切れる性能を十分に発揮してくれた」と

に指定されていないアルペンは、日本オリンピック委員会の強化補助金を十分に確保できなかった。そこで全日本スキー連盟は、協賛社への入金などを積み立てた虎の子の特定資産を一部取り崩す異例の措置を敢行し、約1千万円をアルペンの今季強化費に追加した。

同連盟の古川年正競技本部長は「厳しいスキー産業の復興にはアルペンの活躍が必須というスポンサーの方々の要望にも応えたかった」と説明した。

「歴史ある種目をやっていくプライドを示せた」と喜んだ。

待望の好成績を挙げ、片桐幹雄アルペン部長は